

東雲
火山

shinonome
kazan

株式会社東雲火山
2026年度～2030年度
事業計画

本文書について

- 株式会社東雲火山の、2026年度～2030年度までの事業計画を定めた文書です
- [2025年度～2029年度の5か年計画](#)をベースに微調整を加えた、2026年4月時点での5か年計画となります
 - 上記は[2024年度～2028年度の5か年計画](#)をベースにしているため、必要に応じてそちらもご参照下さい
- 本年度より、売上ではなく収入、営業利益ではなく経常利益での計画に変更しています

2023年度以降の東雲火山の方針

基本目標数値

項目	2018年
収入	5000万～7500万
経常利益	200万
社員数	15
業務委託	状況に応じて
月間最高売上高	500万～700万
月間最高人数	25人～40人

売上高は変動想定とする

主力業務である受託開発には業務量に波がある事を念頭に置き、売上は年度ごとに変動する想定を立て、社員だけでなく業務委託契約者との関係性も重視する。

規模の拡大は目指し続ける

社員数は現在の会社状況では15人規模を妥当とするが、多様性のある雇用形態の拡大は挑戦し続け、投資と回収の年を繰り返して営業規模の拡大の挑戦を続ける

評価の軸に「月間」単位を設ける

変動する受託開発業務に業務委託契約者を含めどれだけ対応できたかを示すKPIとして、社員数と年間売上高以外に月間売上高と月間最高人数を設けて評価を行う

直近5年の実績について

回収

投資

項目	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
収入	6145万	6386万	5741万	7158万	5643万
経常利益	-67万	-276万	-377万	1349万	-78万
社員数	11	16	17(※)	15	15
月間最高売上	-	-	636万	616万	595万
月間最高人数	-	-	33	29	26

2025年度数値目標

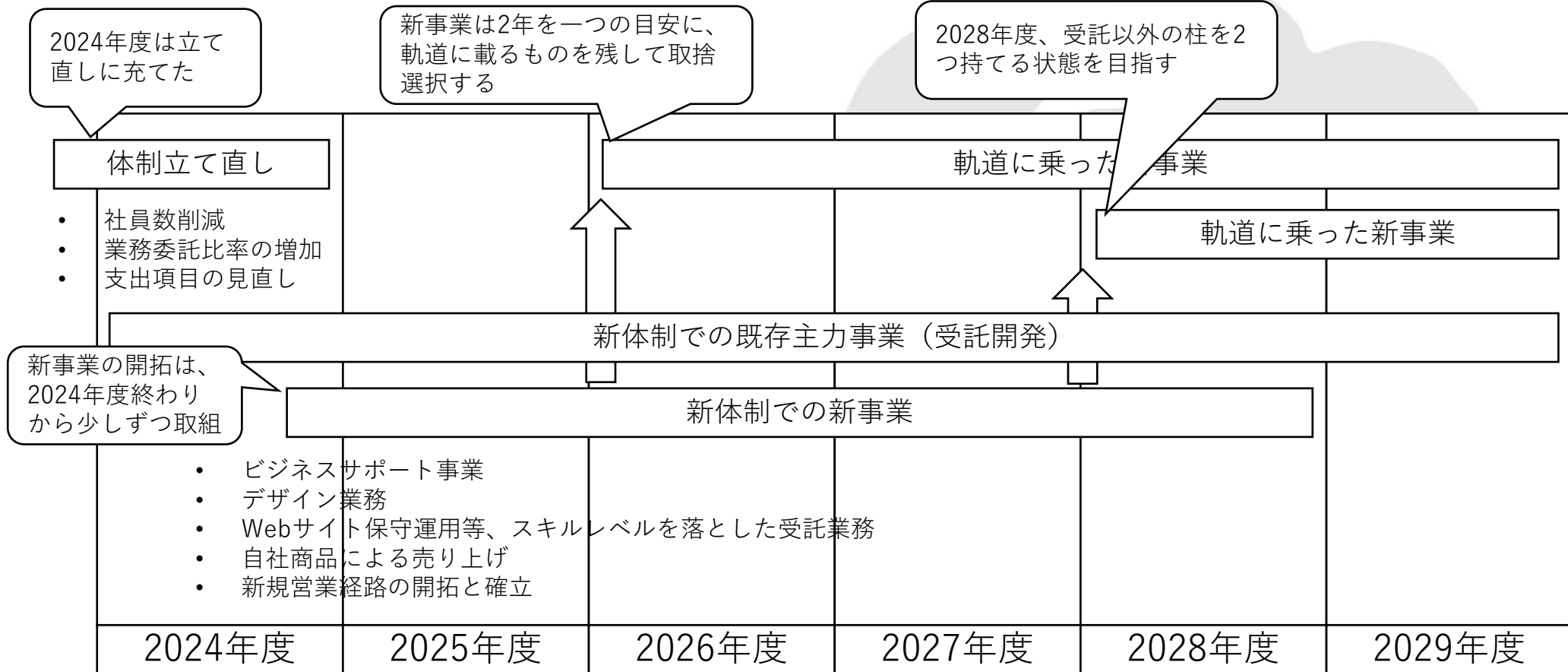
項目	目標
収入	5300万/年
経常利益	-700万/年
年度末社員数	15名
最大月間売上高	650万
最大月間稼働人員数	35人

振り返り

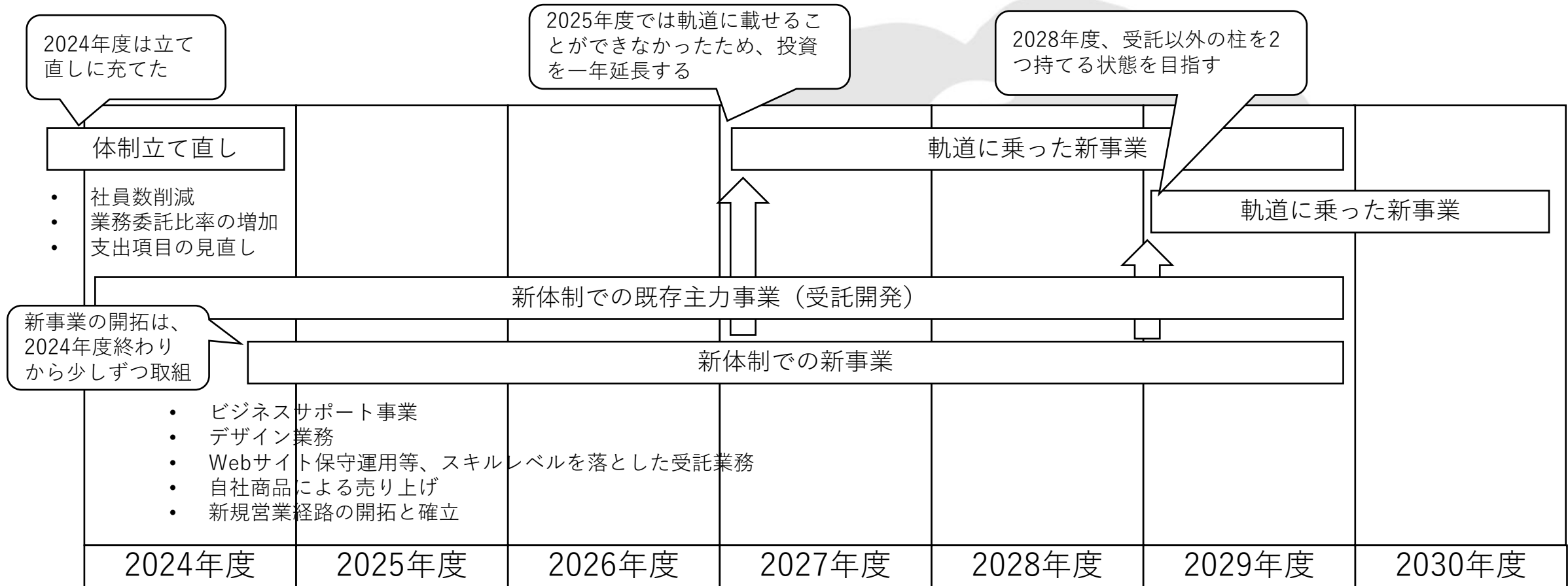
2024年度から新しい方針に従い、回収年と投資年を繰り返す年とし、2024年度は良好な数値で着地。2025年度は投資年として、額は小さくなったものの予定通り赤字で着地したが、投資活動として十分とは言えず、2026年度以降の計画の調整が求められる着地となった。

また、月間最高人数に減少がみられるが、業務委託との関係性の悪化ではなく、個別の契約内容において時間の増加が増えた事による副作用が大きく、こちらも状況に合わせた計画の見直しを実施したい。

2024年度以降の5か年計画



2025年度実績を踏まえた修正



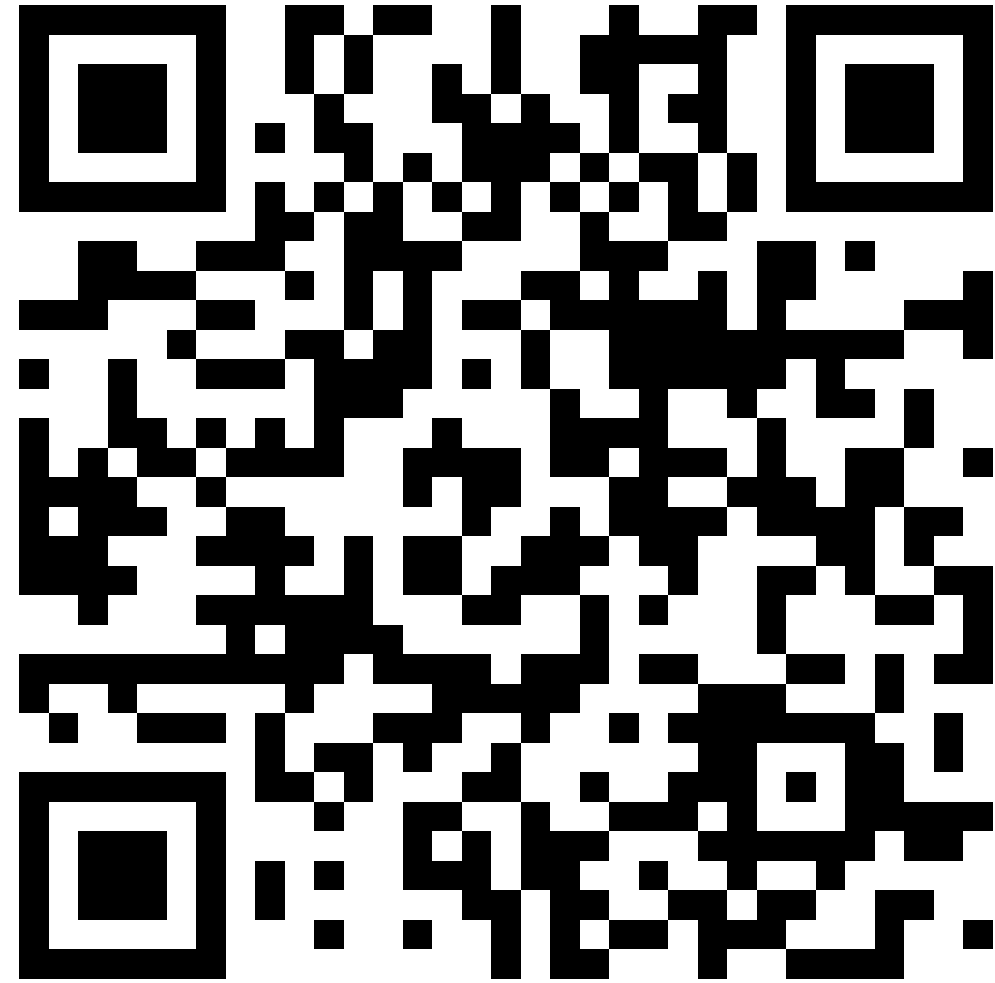
5か年計画の数値内訳

項目/年度	実績		計画				
	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
収入	7158万	5643万	5500万	6600万	6600万	7200万	7200万
経常利益	1349万	-78万	-300万	+300万	-200万	+300万	-200万
年度末社員数	15人	15人	15人	19人	19人	23人	23人
最大月間売上高	616万	595万	650万	740万	740万	815万	880万
最大月間稼働人員数	29人	26人	30人	35人	40人	40人	45人
その他TOPICS	体制立て直し	投資年	投資年	一つ目の新事業軌道化	投資年	二つ目の新事業軌道化	投資年

投資年と回収年を繰り返すサイクルだが、2026年度は2025年度に引き続き投資年とし、新事業軌道化を一年遅延させる。2027年度は、2026年度の投資内容を踏まえて回収年にできるように、成果を求める年とする。最大月間稼働人員数等は、現状に合わせて数値を縮小を行った。

本計画のその他補足事項

- 社員数を増やす役割は新規事業が担う
 - 1新規事業辺り社員数4名を2年かけて増加させる
- 新規事業がどこまで拡大可能かは、本資料時点では盛り込まない
 - 事業ごとに別途計画を立て、軌道化の目途が立ってから5か年計画に反映する
 - 2025年度はまだ新規事業の売上目途が立っていないため、新規事業の5か年計画も一年遅延させ、2027年度の計画立案を目指す
- 2024年度以降、5か年計画は毎年更新するものとする
 - 本計画におけるもっとも不明瞭な点に新規事業が本当に軌道に乗るか、という点が挙げられる
 - そちらを毎年評価し、軌道に乗った場合の拡大方向と、乗らなかった場合の立て直し方向を切り替えていく。2026年度の計画変更は、その方針に沿った修正となる
- 新事業・既存事業の状況によっては、本計画に囚われず、大幅な拡大施策を行うこともありえるものとする
 - 計画は身の丈に合わせて控えめにしつつ、実行は勇気をもって大胆に行う



<https://shinonomekazan.com>

